



大船渡市議会
@ofunato_gikai

...

地域を彩る“花いっぱい運動”展開中
#大船渡 #大船渡市議会



大船渡市議会
@ofunato_gikai

...

5月4・5日開催 碓石海岸観光まつり
フラダンスで華々しくステージを飾る
#大船渡 #大船渡市議会



大船渡市議会
@ofunato_gikai

...

大船渡のご当地サーモン「大船渡サーモン」、
出荷が始まっています
#大船渡 #大船渡市議会



未来を担う子どもたち。みんながんばれ！

🐼 おおふなと 市議会だより

令和6年
第2回定例会

No.159

令和6年7月22日発行

Ofunato City Council

02 令和6年第2回定例会
03 一般質問・答弁
11 全員協議会

11 NEW ぶっしーの“おしえて！おおふなトン”
NEW 議会の用語辞典
12 全国市議会議長会表彰
12 活動日誌・市議会からのお知らせ

大船渡市議会

🔍 検索

<https://www.city.ofunato.iwate.jp/site/gikai/>

令和6年 第2回定例会



令和6年第2回定例会は、6月14日から25日までの12日間の会期で開かれ、一般質問には15名の議員が登壇し市政課題を問いました。市が提出した案件は、令和5年度一般会計繰越明許費繰越計算書について等3件の報告、大船渡市ふるさと納税基金条例の一部を改正する条例について

て等8件の議案が提出され、活発な質疑を経て、全ての議案が可決されました。また、最終日の本会議で請願第1号について、審査付託を受けた教育福祉常任委員会委員長からの委員会採択報告の後、賛成、反対の立場から討論を行い、賛成多数にて採択されました。なお、議員発議の意見書も同様に可決されています。

番号	件名	採決結果
議案第1号	大船渡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第2号	大船渡市ふるさと納税基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	大船渡市特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第4号	大船渡市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	大船渡市企業立地奨励条例の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	令和6年度大船渡市一般会計補正予算(第2号)を定めることについて	原案可決
議案第7号	令和6年度大船渡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	原案可決
議案第8号	令和6年度大船渡市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて	原案可決

主な議案に対する質疑内容

議案第6号 「令和6年度一般会計補正予算(第2号)」

●物価高騰対策事業

Q 市民に対する情報提供は考えているのか。

A 市民に対する情報提供は考えている。

Q 定額減税補足給付金については、対象者に通知を予定している。また、ホームページで周知を行う。

A は、対象者に通知を予定している。また、ホームページで周知を行う。

Q 省エネ家電買替え促進事業の第2弾を行うに当たり、その予算規模を前回に比べ倍以上とする理由は、

A 第1弾は反響も大きく市民から第2弾を求める問い合わせが多数あった。他市の取組等も考慮しながら、第1弾の実績を勘案した結果の予算規模である。

Q 省エネ家電買替え促進事業の対象となる商品や制度について理解が浸透していないのではないか。

A エネルギ基準達成率が低い家電から、省エネ性能が高い家電に買替えることにより、エネルギー費用の削減と二酸化炭素の排出量の削減が図られることを目的としているので、対象となる商品には基準が生じる。第1弾時にはコールセンターを設置し、対応した。

●その他の事業

Q おおふなと版窓口DX事業に関して、防災行政無線の聞き取り状況等から、情報のLINE配信も有効であると考えているが、LINEの登録者数の増加に対する取組は。

A 現在試行錯誤しながら取り組んでいる。公共施設に登録できるポスターの掲示や広報に、QRコードを掲載している。

Q 部活動の地域移行推進事業に関して、歳入に新事業として国庫支出金があるが、昨年度までの相違点は。

A 令和4年度及び昨年度は、受け皿となる団体の体制整備を図るための国からの委託金であり、それを活用して実証事業を行っていたものである。その実証事業を踏まえ、今年度は指導者確保の体制整備を行っていくものである。なお、歳入の方針は昨年度と同様のものである。

請願第1号

「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」

「義務教育費国庫負担制度は、教職員の人員費であり、義務教育の水準維持には関係がないこと」等の反対討論。「子供支援、子供政策には、まず十分な教員の増員及び配置が必要である」等の賛成討論の後、賛成多数で請願は採択されました。

第2弾 **大船渡市民限定!!**

省エネ家電などの買替えて
最大 **5万円** 助成します!

申請受付期間 令和6年 3月1日(木)～10月20日(日)
※予算の上限(2,000万円)に達した時点で受付を終了します。

※2月に達した本事業の助成金総額は、対象外となります。

対象品目 (令和6年7月22日以前に購入したもの)
省エネ基準達成率100%以上の
エアコン 冷蔵庫 給湯器

※省エネ基準達成率自認基準
エアコン2027年基準、冷蔵庫2021年基準、給湯器2025年基準
エアコン、冷蔵庫は同一住宅に1台のみとする対象となります。

省エネ基準達成率は統一省エネラベル
ご確認ください

い っ ぱ ん 質 問

～ ここが聞きたい ～ 市政課題で活発な論戦

令和6年市議会第2回定例会の一般質問は、6月19日・20日・21日の3日間行われ、15人の議員が登壇し、市政全般にわたり、活発な議論が交わされました。その要旨を質問順に紹介します。

議場での一般質問の様子を撮影した「録画映像」をご覧になれます。一般質問を行った各議員の欄に二次元コードを掲載していますので、スマートフォンなどでのご視聴にご活用ください。

※Wi-Fi環境下での「録画映像」のご視聴をお勧めします。
Wi-Fi環境のない場所でご視聴する際は、通信料にご注意ください。



▲ 映像配信



▲ 会議録



わたなべ
渡辺

とある
徹
議員

こちらから
視聴できます



質問

本市における空き家の実態は

答弁

空き家台帳の現在の件数は605件となっている

質問

国は平成27年に空き家特措法

を施行し、当市も令和2年に大船渡市空家等対策計画を策定し、対応してきた。しかしながら、日本全国で空き家は増え続けているというのが現状である。当市においても同じような現状であると考える。国は昨年、空家特措法の改正を行い、さらなる対策の強化を進めている。当市もまた、それに対応した形で条例改正を行った。

そこで大船渡市空家等対策計画が10年の計画の折り返しを迎えるに当たり、当市の実態を伺う。

答部長 市内における空き家の状況については、令和元年度に市内全域において委託事業により机上調査・現地調査を行い、653件が空き家であると確認し、空き家台帳を作成した。

その後、通報、相談等で新たに把握した空き家、空き家バンク等を活用し、住戸となった物件や、除却解体したものを加除し、空き家台帳の現在の件

数は605件となっている。

しかし、この数値は現地調査によるものではなく、通報・相談等で判明したものであるため、実態とのかい離があるものと捉えていることから、改めて実態把握のための調査を行うこととしている。



補助金を活用して
除却した空き家



佐藤 優子 議員
さとう ゆうこ

こちらから
視聴できます



質問 公園に対する市民のニーズの把握は

答弁 今年度、アンケートやヒアリング調査を実施

質問 公園に対する市民のニーズをどのように把握しているか伺う。

答部長 都市公園は、子供からお年寄りまで幅広い年齢層に、自然と触れ合いながらレクリエーション活動や憩いの場を提供する目的で、市内に37か所設置されているが、社会情勢や利用者ニーズの変化により、一部、利用が低調であると認識している。今年度は利用が多い子育て世代やグラウンドゴルフ、ゲートボールの競技団体に対して、アンケートやヒアリング調査の実施を予定している。

都市公園の管理集約について

質問 草刈りなど管理が行き届いていない都市公園が多数見られる。集約・再編も視野に入れる必要があるのでは。

答部長 当市が設置している都市公園37か所のうち30か所は、地域公民館などを中心とする愛護活動団体と協力し



維持管理が求められる都市公園

ながら草刈りやトイレ清掃など、無理のない範囲での協力をお願いし、維持管理を実施している。人口減少や少子高齢化が進行する中、持続可能なまちづくりのために、都市公園においても機能の集約化などに取り組み必要があると考えており、まずは、都市公園の利用状況やニーズの把握に努めるとともに、地域での合意形成を図りながら、公園機能の集約・再編について検討したいと考えている。



宮崎 和貴 議員
みやざき かずたか

こちらから
視聴できます



質問 □座振替推進キャンペーンについて

答弁 □座振替納付の動機付けが必要

質問 6月3日より実施されている

□座振替推進キャンペーンは、その期間中に金融機関で市・県民税等の税金や保険料の納付について□座振替の手続きを行った場合、大船渡地域商品券を進呈するというものであるが、このような施策はこれまで行われてはいなかったものと記憶している。この施策は、収納率を上げる点において、とても期待をするものである。そこで、この施策の想定している達成度や見通しについて伺う。

答部長 これまでも利便性を向上させるための納付方法の拡充を行ってきたが、現金での納付を希望する納税者も一定程度いる。現金移動による手間やリスクとともに、納め忘れ解消のため□座振替を推進してきたが、利用率は低調であることから、□座振替納付に誘導するため動機付けが必要と考え、実施に至った。



市街地での出没に警戒

鳥獣被害対策の現状について

質問 クマが指定管理鳥獣となったことに鑑み、当市の鳥獣被害の現状を確認するとともに、実施している対策やその見通しについて伺う。

答市長 昨年度、立根町地内の住宅地において、住民がクマに襲われ負傷する被害が発生したことから、市街地での出没について、警戒と対策が必要であると考えている。



西風 雅史 議員

こちらから
視聴できます



質問

フューチャーデザインの取組の具体化について

答弁

考え方は有効な手段の一つであると捉える

質問

持続可能な財政・社会保障の

在り方を考えていく上でも、次の時代を担う若年世代を含め、フューチャーデザインの考え方を活用した議論に社会各層を広く巻き込み、当事者としての関心を高めていくことが望ましく、こうした取組を具体化していく必要があると思うが見解を伺う。

答部長

計画策定においては、現在の課題だけでなく未来の課題を検討するフューチャーデザインの考え方は、将来を見据えたまちづくりを進める上で有効な一つであると捉えている。令和8年度を初年度とする市総合計画2021後期基本計画策定に向けて、様々な階層や分野の方々、さらには、いわゆる将来世代の参加を促すなど、市民の意見や提言を取り入れながら計画策定を進めていきたいと考えている。

三陸鉄道綾里駅舎跡地の活用について

質問 三陸鉄道綾里駅の駅舎解体後



綾里駅舎

の跡地の活用について伺う。

答部長

跡地は、建物のあった部分を平場にして舗装する計画で、津波災害時の第一避難場所としての機能に加え、催事等にも活用できるよう綾里地区公民館と協議を重ねている。駅トイレは、住民の利用はもとより、潮風トレイルのハイカーなどの経由地になっていることから、オストメイトの方に配慮した多機能型トイレとし、身障者用駐車スペースも設置したいと考える。



菅原 実 議員

こちらから
視聴できます



質問

大船渡椿サミットの意義・ねらいについて

答弁

市民が市の花・椿を深く理解し誇りを持つ

質問

令和8年3月、大船渡市で椿サミットが開催される。その成功を市民の方々、気仙地域の皆さんまで巻き込むように、総力を挙げてその日を迎え、終了後は「本当に開催して良かった」、「素晴らしい椿サミットだった」と、喜び語り合えることを願って、一番の肝である大船渡椿サミットの意義、ねらいをどう考えているか伺う。

答市長

大会ごとのテーマや方向性は主催する開催地の実行委員会が決定するが、例年、開催地の観光資源を始めとするシティプロモーションに加え、椿を生かしたまちづくり事例の発表、参加者と地域住民の交流イベントの実施などが中心となる。当市の場合は、それに加えて、復興支援への感謝と復興後の姿を全国へ発信することや、開催を通じて、市民が市の花・椿について改めて見つめ直し、より深く理解し、誇りを持つことなども、大会開催の大きな意義になると考えている。

組織体制は、基本的には前回と同様の組織体制で検討を進める。広く市民や事業者等が参加できる取組の実施を意識し、状況に応じて、新たに実行委員や部会員を追加するなど、より多くの意見を反映できるよう努める。



市内のヤブツバキ



こんの よしのぶ
今野善信 議員

こちらから
視聴できます



質問

放課後児童クラブの課題解決に向けた市の方針は

答弁

運営の在り方について各クラブと意見交換を行う

質問 本市では、現在、すべての小学校区に放課後児童クラブが整備され保護者会が運営しているが、保育料が市内均一ではないこと、会計などの事務処理の負担、支援員の処遇など運営上の課題も多いと感じている。今後課題の克服に向けた取組を進める必要があることから、方針を示すべきと考えるが見解を伺う。

それらの課題については、どのクラブにも当てはまることから、全体的な調整の中で課題解決の糸口を見出せる可能性があると認識している。市としては、現状の保護者会による運営の形態を維持しつつ、その在り方について各クラブの保護者会や支援員等と意見交換を行うとともに、先進地等の事例を参考にしながら、保護者会への必要な支援を行っていく。

答部長 放課後児童クラブについては、保護者会が運営することにより、地域の実情に応じた柔軟な取組を可能とし、市でも委託料や維持管理費用の負担、相談対応など、保護者会の運営を支援することで、子供の成長を共に支え合う「共助」の体制が構築されてきたと認識している。各保護者会によるクラブの運営には、保護者の業務負担の軽減、利用料の適正化、支援員の確保等、様々な課題が見受けられ、各保護者会単独で解決を図ることは、非常に難しい状況となっていると認識している。



学童クラブで楽しくおやつ



こまつ のりや
小松則也 議員

こちらから
視聴できます



質問

吉浜海岸再開に向けた取組について

答弁

県と連携し、海中調査やがれきの撤去を行う

質問 「今年も海開きができないんだな」という嘆きの声が聞こえている。吉浜住民の本音の声である。市の昨年度までの事業の実施状況と今後の見通しについて伺う。

答市長 昨年度は、堆積しているがれきの量や位置、危険な岩などの把握を目的としたダイバーによる海中状況調査、公衆トイレの管理及び駐車場の草刈り、令和6年度予算に係る復旧整備の対県要望を実施した。今年度も、これまでと同様の取組を予定している。

の露出や新たな海中がれきが確認された。波打ち際の形状が急傾斜であること、吉浜川からの落ち葉の流入による海中の視界不良などにより海水浴場の再開に時間を要している。吉浜海岸については、地域住民等からの早期の復旧や活用を願う声が多数寄せられている。県と協議を重ねながら、海中調査やがれきの撤去等の整備を行う予定である。海岸の利活用の在り方に関しては、地域の方々の意見等を伺って考えていく。

復旧の遅れについて

質問 吉浜海岸の復旧がなぜ遅れているのか。

答部長 これまでに復興交付金の活用による砂浜の災害復旧も検討したが、交付金事業は、県が管理者であることから、事業実施には至らなかった。県においては、コンクリートがれきの撤去を複数年実施したものの、多くの石



吉浜海岸の現在の様子



くまがい あきひろ
熊谷昭浩 議員

こちらから
視聴できます



質問 ふるさと納税の取組状況と今後の見通しは

答弁 更なる寄附金の受入れに向け取り組んでいく

質問 財政の安定確保に向けた、ふるさと大船渡応援寄附（ふるさと納税）の取組状況と今後の見通しを伺う。

答部長 令和5年度は、新たな中間支援業者を選定し、中間支援業者と市、お礼品取扱事業者、大船渡商工会議所等が連携して、お礼品の発掘や開発、お礼品ページのリニューアル、積極的な広告運用等を実施した結果、過去最高となる約4億9700万円の寄附実績となった。令和6年度は、寄附額6億円を予算計上しており、更なる寄附金の受入れに向けて取り組む。

員確保も困難が見込まれ、適正かつ効率的な一定規模の投票区・投票所の再編が必要である。現在、投票所が遠くなった場合における投票機会の確保等も含め、他自治体における再編事例等の情報収集を進めているが、投票区の見直しに当たっては、対象となる地域の意見も伺い、検討を進める。

投票区・投票所の見直しについて

質問 現状の人口動態への対応や投票率の向上に向けた投票区・投票所見直しの検討状況について伺う。

答局長 当市の投票区は、平成24年の市議会議員選挙の際、44投票区から40投票区に再編した。今後、投票管理者や投票立会人、事務従事者といった人



みaura たかし
三浦隆 議員

こちらから
視聴できます



質問 再生可能エネルギーの導入に向けての取組は

答弁 環境と経済の好循環を意識して具現化を模索する

質問 現在環境アセスメントを実施中の「大船渡第1・第2太陽光発電所」が計画通りに発電事業を開始したとしても、市が掲げている数値目標にはまだ程遠いのが実情である。再生可能エネルギーの当市における取組について伺う。

答部長 再生可能エネルギーの活用は、脱炭素社会の実現に向けた重要な取組である。当市の「地球温暖化対策実行計画」において、「再生可能エネルギーの利用促進」を基本目標の一つとして、地域資源である再生可能エネルギーを最大限に活用しつつ、自然環境に配慮しながら温室効果ガス排出量の削減に取り組むこととしている。

見直しは。再生可能エネルギーの欠員数は増加しており、今後も人材の確保が難しい状況が続くものと見込まれる。隣接する地区の民生委員を活用するほか、新たな人材の確保に当たっては、地域公民館などからの情報提供を得ながら、早期の充足に努めていく。

民生委員の担い手不足について

質問 高齢者の独居世帯が増加する現状では、民生委員の役割はより重要になっている。その一方で、民生委員の担い手不足について、当市の現状と

ふるさと大船渡応援寄附金（ふるさと納税）

ふるさと大船渡応援寄附（ふるさと納税）は、出身地または自分と関わりが深い地域である「ふるさと」に対して、寄附という形でまちづくりを応援していただくものです。いただいた寄附金は、産業振興事業や子育て・福祉関連事業、道路や住宅等の都市基盤整備等の財源として、大切に活用させていただきます。

ふるさと納税の申込方法

1 インターネットポータルサイト（ふるさとチョイス・楽天ふるさと納税・ふるなび）

「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ふるなび」の大船渡市ページから、必要事項を入力してお申し込みください。申込と合わせて、クレジットカード等で決済することができます。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

ふるなび

スマートフォン等でQRコードを読み取ると、大船渡市ページへ移動します。

ふるさと大船渡応援寄附情報



大船渡第1・第2発電所建設予定地



えんどう
遠藤

あきら
章
議員

こちらから
視聴できます



質問

県央部への直結道路の高規格化が進まない現状は

答弁

国道107号を高規格道路として要望を継続

質問

大震災の復興道路建設として、

久慈市は、八戸工業圏と高速道で直結し、釜石市・花巻市間も釜石道として結ばれた。特筆されるべきは、国道106号宮古盛岡横断道路で、令和3年3月に全線100kmが開通し、この道路関連の大規模な周辺整備事業が、現在進行形で行われている。いよいよ、大船渡市の番と思われるが、市の現状認識と、今後の見通しについて伺う。

答市長

令和5年度対県要望の際に、ルートや道路構造等の調査を進めているところであり、国道107号を規格の高い道路として着実に整備を進めたいとの回答だった。このことから、現状においては高規格道路の一部となり得る国道107号の新白石トンネルの早期着工等、大船渡内陸道路の実現へ向けて、機運醸成の取組や要望活動を継続する考えである。

吉浜地区太陽光発電事業について



吉浜地区大窪山から見た景観

質問

吉浜地区太陽光発電事業の、

市有地貸付条件である住民の合意形成と漁業者の了解に係る現状の達成度について、当局の見解を伺う。

答部長

本事業については、現在環境アセスの調査中で、市民の事業に対する理解に市は大きな関心を寄せており、今後、準備書に対する意見等を参考にしながらその把握に努めたい。



おかざわ
岡澤

しゅん
駿
議員

こちらから
視聴できます



質問

審議会等委員への若者の登用状況と目標設定は

答弁

意見を反映するため積極的な委員選任に努める

質問

若者が参画するという観点で、

女性の参画に関する指標としても用いられる各種委員への登用状況が挙げられる。政府は「こども大綱」において、こども・若者の審議会等への登用に取組みとともに、委員割合の「見える化」をする旨を明記している。市が設置する審議会等委員における39歳以下の構成比の現状、登用に関する目標設定をすべきと考えるが、見解を伺う。

答部長

令和6年4月1日現在、全50審議会等のうち39歳以下の委員を登用している審議会等は15組織あり、登用している審議会等において委員の構成比が約5〜25パーセントとなっている。委員の選任は、各審議会の性質等を考慮して行うことが肝要と考えており、一律の数値目標を掲げることは考えていない。しかし、意識向上や人材の育成、持続的な将来ビジョンを策定する上で重要であるため、引き続き積極的な若者委員の選任に努める。

質問

手順や標準作業期間を定め、

計画策定や事業見直しにおける連携について

質問

地域住民と連携して取り組む意識の強化を行うべきと考えるが、見解を伺う。

答部長

事務フローや手法のマニュアル化などは行政経営資源の効率的・効果的な活用につながると思えるので、研究を深めたい。



審議会の様子



ふなの
船野

あきら
章 議員

こちらから
視聴できます



質問

有害鳥獣による被害対策について

答弁

効果的な対策の取組の強化を図る

質問

市内において、ここ3〜4年、熊による人的被害が続発している。防災行政無線でも「熊が出ました。注意して下さい。」と放送されている。どう注意すればいいのか。国では、熊を指定鳥獣にし、対策と保全を目指すとしているがどうするのか。国においては、被害対策と保全は難しいが共存を目指したいとしているが、どう共存を図ろうとするものなのか、その見解を詳細に示されたい。

答部長

鳥獣は、人々の暮らしを豊かにする上で欠くことのできない役割を果たすものである。当市は、多様な鳥獣が生息する自然を有しており、将来にわたって保全が必要であると考える。一方、生息数の増加や生息域の拡大により、農林業被害等を生じさせる有害鳥獣が増加していることから、捕獲を含めた被害対策が必要である。熊は、農林業被害のほか、人身被害も発生していることから、防災行政無線による



鳥獣とどう共存を図るのか

呼びかけ、追い払い、そして捕獲を実施してきた。一定の効果はみられるものの、依然として被害が発生している。市としては、保護に配慮することも必要と認識している。住民の安心や安全の確保、農林業被害の防止、遊休農地の管轄や個体数を減らすことを行いつながり共存を図る。今後も、県・国に対し必要な支援の要望を継続し、更なる取組の強化を図る。



やまもと かずよし
山本和義 議員

こちらから
視聴できます



質問

外国人労働者の現状、支援策と市内産業活性化を

答弁

外国人労働者は294人、市の支援を今後検討

質問

市内で水産業関係等外国人労働者が増加しているが、当市としても現状を把握し、市内産業の活性化を図ることが重要となっている。外国人労働者の出身国や就労業種等現状について伺う。

答部長

本年5月末現在で、382人の外国人が登録され、そのうち外国人労働者数は、前年比72人増の294人。国籍別では、ベトナムが最も多い149人、インドネシアが45人、ミャンマーが36人、中国が29人などとなっている。在留資格別では、技能実習が最も多い210人、特定技能1号が63人など。産業別では、令和5年10月末現在、気仙管内では、製造業が最も多い423人で全産業の75・5%を占め、卸売業・小売業が40人などとなっている。

外国人材への支援策と今後の方向性

外国人労働者への支援策と今後の方向性について伺う。



水産加工場での作業の様子

外国人労働者への支援は、約93%を占める技能実習生や特定技能外国人については、監理団体や登録支援機関、受入事業者などが相談対応や日常生活等の支援を行っているほか、同じ国籍のコミュニティの中において、おおむね問題を解決していると伺っており、当市独自の支援は行っていない。



たきた まつお
滝田 松男 議員

こちらから
視聴できます



質問 高齢運転者に対する安全対策について

答弁 様々な視点から交通安全対策を推進

質問 地方で生活していくためには、高齢になっても買い物や通院などのために車に頼ることが多い生活になっている。そのため、高齢になっても運転する方が増えてきているように思う。そのようなことから、高齢者ドライバーによるアクセルとブレーキのペダル踏み間違い事故が発生し、社会問題化していると言えるが、踏み間違い事故を防止するための後付け急発進抑制装置を設置する運転者に対して、補助を考慮してどうか伺う。

答部長 近年、高齢化の進行を背景として、高齢者ドライバーによる痛ましい交通事故が全国各地で発生しており、大船渡警察署管内における令和5年の高齢者ドライバーによる交通事故発生件数は、人身事故が20件、負傷者数が21人、死者数が1人となっている。全国的には高齢者ドライバーによるアクセルとブレーキペダルの踏み間違いによる交通事故も発生しており、このよ

うな事故の防止策として、ペダル踏み間違い急発進抑制装置が有効な対策の一つであると認識している。しかしながら、令和3年11月以降にフルモデルチェンジする新車への自動ブレーキ搭載が義務化されたことから、現時点では後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の購入に対する補助は考えていない。様々な視点から交通安全対策を推進していく。



ペダル踏み間違い防止策を



もり みさお
森 操 議員

こちらから
視聴できます



質問 糖尿病の死亡率が全国の約2倍への対策は

答弁 要因となる生活習慣の改善を強く推進する

質問 糖尿病について、気仙圏域の死亡率は、全国の約2倍であり、その上、令和4年度の当市内の患者数は、糖尿病で2,756人、腎不全で281人であり、2つの疾病で約3億3千万円の医療費である。その対策として、医師会、薬剤師会と行政が連携し、糖尿病やその合併症の重症化予防を推進するとあるが、具体的に伺う。

答市長 糖尿病は、進行とともに合併症を引き起こすほか、さらに人工透析によって多額の医療費を要すること、高齢化や肥満によって今後も患者が増加すると予測されることから、糖尿病の発症と重症化予防のため特定健康診査などの実施とともに、医療機関の受診勧奨に取り組んでいる。市民の生活習慣の特徴として、間食を習慣的に取る人や、運動習慣が少ない人が多く、その改善を強く推進している。

質問 過去1か月、又は2か月の血糖コントロール状態を示す、ヘモグロビンエーワンシーの国・市の数値割合の見方と見解を伺う。

答部長 第3次健康おふなと21プランに掲載している割合は、国が高く市が低い。糖尿病啓発ポスターに記載された死亡率と逆の傾向を示している。その要因は現時点では明確ではないが、健診未受診者の中に重症化する人が多くと考えられる。6割の方々の健康状態は把握できていない。

国・市の数値割合の見方は



ちゃんと治療を

全員協議会

大船渡市議会全員協議会が6月4日に開かれ、市当局から説明された令和7年度予算に係る対国及び対県要望、大船渡市スポーツ推進計画中間見直し(案)、大船渡市スポーツ施設整備基本計画中間見直し(案)の3件について、協議を行いました。

令和7年度予算に係る 対国及び対県要望

令和7年度予算に関して、国に対して12項目、県に対しては、新たに不登校対策を加えた15項目の要望案が示されました。全員協議会での協議を経て、持続的な林業に資する支援施策の充実や県立大船渡病院の医療提供体制の充実・強化などの項目で要望内容の修正等が行われました。

国に対しては、7月18日から8月1日にかけて、県に対しては7月11日に市長と議長の連名にて要望が実施されます。

スポーツ推進計画 中間見直し

令和元年度に策定された同計画について、進捗状況の評価・検証や社会情勢の変化を踏まえ、目標値や取組項目の中間見直し(案)が示されました。

新たに追加する内容として、当市ゆかりのアスリートへの応援を通じたシビックプライド醸成やシティプロモーションの推進、部活動の地域移行、施設予約のオンライン化等の推進が示されました。

スポーツ施設整備基本計画中間見直し

令和2年度に策定された同計画の前期期間(令和2～5年)が経過したことから、中間見直し(案)が示されました。

協議において、見直し(案)の内容に関するものに加えて、複数の議員が見直し(案)策定を進めるに当たって、同計画に関係する団体

や地域住民からの意見の聞き取り、集約不足を指摘しました。その結果、計画見直しに係る今後について、パブリックコメントを経て決定する当初の予定から、さらに関係団体等との意見交換の機会を設ける等のスケジュールの再検討を行う旨、回答がありました。

さんまぶっしーの おしえて! ままふなトン

「シティプロモーション」や「シビックプライド」ってなんでござるか??

「シティプロモーション」は、大船渡の良いところを見つけたり、育てたり、世界中のみんなに知ってもらおう取組のことなんだトン。「シビックプライド」は、地元で愛着や誇りを持って、これからのまちづくりに貢献しよう、というみんなの意識なんだトン。

ヨコ文字の言葉はむずかしいでござるな。

また何でも教えてあげるトン。



↑詳しくは議会HP
をご覧ください

大船渡市議会基本条例において「請願」は、市民からの政策提案に位置付けており、誠実かつ適切に審査を行います。

大船渡市議会基本条例の規定により、議員の紹介が必要です。提出することができませんが、地方自治法の規定により、議員の紹介が必要です。

国や県をはじめ、市の機関に対して文書で希望や要望を述べることができ、日本国憲法で保障されている制度です。市議会に請願を提出する場合は、1人でも提出することができませんが、地方自治法の規定により、議員の紹介が必要です。

請願 (せいがん)

議会の用語辞典

全国市議会議長会表彰

令和6年5月22日、全国市議会議長会第100回定期総会において、大船渡市議会から5名の議員が表彰されました。長年の議員活動に尽力された功績が認められたものです。



正副議長在任4年
での一般表彰

三浦 隆 議員



在職20年以上での
特別表彰

船野 章 議員



在職20年以上での
特別表彰

滝田 松男 議員



在職20年以上での
特別表彰

熊谷 昭浩 議員



在職15年以上での
一般表彰

伊藤 力也 議員

大船渡市議会からの お知らせ

令和6年 第3回定例会の日程 (予定)

第3回定例会の開催日程をお知らせします。皆様の傍聴をお待ちしております。なお、日程は変更される場合があります。

- 9月6日(金) 定例会 (初日)
- 9月11日(水) // (一般質問)
- 9月12日(木) // (一般質問)
- 9月13日(金) // (一般質問)
- 9月19日(木) 決算審査特別委員会
- 9月20日(金) //
- 9月26日(木) 定例会 (最終日)



議会：主な活動日誌

5月	14日	会派代表者会
	16日	第1回臨時会、全員協議会(議員のみ)
	24日	会派代表者会
	29日	総務常任委員会、教育福祉常任委員会、産業建設常任委員会、月例会議
6月	4日	全員協議会
	5日	市政調査会第1回役員会
	7日	会派代表者会
	11日	議会運営委員会
	13日	議会運営委員会
	14日	第2回定例会(初日)、総務常任委員会、教育福祉常任委員会、産業建設常任委員会、市政調査会第2回役員会
	18日	教育福祉常任委員会、会派代表者会
	19日	第2回定例会(一般質問)
	20日	第2回定例会(一般質問)、議会運営委員会
	21日	第2回定例会(一般質問)、市政調査会第3回役員会
	25日	第2回定例会(最終日)、総務常任委員会、教育福祉常任委員会、月例会議
	26日	議会運営委員会
27日	産業建設常任委員会	
28日	気仙広域連合議会第1回臨時会及び全員協議会、大船渡地区環境衛生組合議会第1回臨時会、大船渡地区消防組合議会第2回臨時会	

編集後記

改選後初となる定例会には、15名が一般質問に立ちました。初めて臨む議員を含め、熱心な議論を展開したところです。各議員の質問内容については、今回も紙面に掲載していますが、文字数等の関係から、細部までお伝えすることが難しく、今後の課題と捉えています。より一層の研鑽に励み、皆さまに親しまれるような市議会だよりを編集したいと考えますので、今後ともご意見をお寄せくださるようお願いいたします。

また、皆さまには是非議場での傍聴を通じて、紙面では伝えることの出来ない雰囲気を感じていただきたいと思います。足を運ぶことが難しい場合には、動画も配信していますので、ご覧ください。

市議会だより編集委員会

- 委員長 宮崎 和貴
- 副委員長 滝田 松男
- 委員 岡田 俊也
- 委員 小松 隆
- 委員 佐藤 優
- 委員 船野 章
- 委員 三浦 隆

